

交通事故相談所の運営

直轄事業

実施目的

交通事故被害者等の補償問題、更生問題、示談の方法等に係る総合的な相談指導業務を実施し、交通事故被害者等を支援する。

実施場所 県内各所

対象者 県民一般

開始年度 昭和42年

予算 14694 千円

実施内容

交通事故相談員 3 名により、本所及び支所の交通事故相談所のほか県内 2 か所で定期巡回相談を実施する。

(1) 交通事故相談

ア 本 所：岡山市北区南方2-13-1「きらめきプラザ」 1 階

イ 津山支所：津山市山下53「美作県民局」 1 階

(2) 巡回相談

ア 笠岡市役所（協働のまちづくり課）

イ 新見市役所（交通対策課）

URL

<https://www.pref.okayama.jp/page/272085.html>

高齢者

子ども

中高生

チャイルドシート
ヘルト

啓発運動

調査研究

市民参加

自転車等

反射材

飲酒
運転
根絶

その他

交通安全母の会の指導育成（指導者研修会、リーダー養成講座）

補助事業 岡山県交通安全母の会連合会

実施目的

「交通安全は家庭から」を理念とし、県内全域で住民との直接的なふれあい、草の根的な活動を行っている交通安全母の会の活動を指導育成することで、県民の交通安全意識の普及・高揚を図る。

実施場所 県内全域

対象者 県民一般

開始年度 昭和43年

予算 800 千円

実施内容

岡山県交通安全母の会連合会が行う交通事故防止の推進及び交通安全意識の向上のための事業に対する補助を行う。

高齢者・子どもを対象にした交通安全教室や自転車乗り方教室、登下校時の児童の見守り活動、さらには各種交通安全県民運動への参加等により、広く県民に交通安全を呼びかける。また、会員の指導能力向上のため年3回の研修会等を開催する。

URL

交通安全指導者養成事業（幼児交通安全クラブ指導者研修）

直轄事業

実施目的

交通安全教育は、各年齢に応じて段階的に実施していくことが重要であり、特に心身の発達段階にある幼児期が最も重要である。そのため、幼児の行動特性、身体特性等について指導・教育し、保護者等の交通安全意識を高め、幼児の交通事故防止を図る。

実施場所 県内3か所

対象者 幼児の保護者等

開始年度 昭和49年

予算

実施内容

県内3か所（岡山県立図書館、マービーふれあいセンター、勝北文化センター）で幼児の保護者等を対象として研修会を開催し、専門講師等による幼児とのふれあい方、また、幼児に対しての交通安全教育・指導方法等について、ビデオや講話等により研修を行う。

URL

<https://www.pref.okayama.jp/page/306864.html>

第34回 無事故・無違反チャレンジ200日

直轄事業

実施目的

10人一組のチームで参加し、無事故・無違反をチーム単位で目指すことによって、交通安全意識を高め、安全運転の励行を習慣付けることにより、広く県民全体の交通安全意識の高揚を図る。

実施場所 県内全域

対象者 県民一般

開始年度 平成 5 年

予算 0 千円

実施内容

無事故・無違反チャレンジ200日実行委員会（岡山県・岡山県警察・岡山県教育委員会等）が運営する。県内に在住又は勤務し、日常的に車等を運転している者10人のチームで参加（参加費一人1,000円）し、無事故・無違反を達成したチームには達成記念品と抽選により副賞を贈る。

平成30年度から全員が65歳以上のチーム、令和元年度からは全員が29歳以下のチームを募集し、全年齢層に無事故・無違反を目指してもらう。

※令和 7 年度 4,789チーム参加（達成率76.7%）

URL

<https://www.pref.okayama.jp/page/1005993.html>

交通安全県民運動

直轄事業 岡山県交通安全対策協議会

実施目的

県民に交通ルールの遵守と交通マナーの向上を図る。

実施場所 県内

対象者 県民

開始年度

予算 1379 千円

実施内容

春、秋、年末・年始を始めとする各種交通安全県民運動の実施といった効果的な施策を集中的に展開するほか、時宜に応じた交通安全活動を推進する。

また、多年にわたり交通安全活動に顕著な功績のあった個人、団体への表彰を行う。

【交通安全県民運動】

- 春・秋の交通安全県民運動
- 年末・年始の交通安全県民運動
- みんなで防ごう交通事故県民運動
- 高齢者交通安全県民運動
- ストップ飲酒運転県民運動

URL

<https://www.pref.okayama.jp/page/355112.html>

高齢者

子ども

中高生

チャイルドシート
シートベルト

啓発運動
イベント

調査研究

市民参加

自転車等

反射材

飲酒運転根絶

その他

飲酒運転を許さない社会環境づくり推進事業

直轄事業

実施目的

「岡山県飲酒運転を許さない社会環境づくり条例」の施行を機に、飲酒運転根絶のため環境づくりを強力に推進する。

実施場所 県内

対象者 県民

開始年度 平成26年

予算 0 千円

実施内容

「飲酒運転根絶宣言」の登録制度（平成25年10月31日施行）を活用し、酒類を提供する飲食店における取組を促進し、「飲酒運転を許さない」機運の醸成を図る。

高齢者

子ども

中高生

チャイルドシート
シートベルト啓発運動
イベント

調査研究

市民参加

自転車等

反射材

飲酒
運転
根絶

その他

URL

<https://www.pref.okayama.jp/page/355112.html>

安全安心教育講師団の運営

直轄事業

実施目的

地域で開催される高齢者、幼児等を対象とした安全安心教室等に専門的知識や技能を有する講師を派遣し、実効性のある安全安心教育を実施する。

実施場所 県内全域

対象者 県民一般

開始年度 昭和50年

予算 1932 千円

実施内容

交通安全や防犯の知識が豊かで、安全安心に対して知識、熱意等を有する者（16人）を講師に登録し、交通ボランティア団体等からの依頼により派遣する。

講師は専門知識を生かした交通安全や防犯についての指導を行い（自転車の点検方法や特殊詐欺の被害防止等）、派遣回数は年間80回程度を予定している。

URL

<https://www.pref.okayama.jp/page/847011.html>